

～共に学び、共に育つ～ 障害理解授業 その1

天王みどり学園では、小学校・中学校等において、学年に応じた内容による障害理解授業の協力をしています。

今回は、6～7月に行われた五城目小学校での授業の様子と、授業後の子どもたちの感想の一部をお伝えします。



みんなの気持ちをひとつに ～フラフープリレー～(1年生)

手話であいさつゲーム(2年生)



友達と協力
～ペンでアップダウン～
(6年生)

6年生の感想より

字を読むのが苦手な人や書くのが苦手な人がいるのが分かりました。その人たちのことを理解できるような体験をして、その人たちの気持ちを理解できました。

実際に体験してみることで、障害の人の気持ちを知ることができたと思います。「みんなちがう」ということを頭に入れて、誰にでもやさしくしていきたいです。

一人一人の感じ方がそれぞれちがうということが分かりました。

一人一人がかけがえのない存在という意味が分かったように感じました。

きづく、言葉にする、うごく、という3つのおねがいをおぼえて、こまっている人がいたら障害者にかかわらず助けてあげたいと思いました。